

利用学生の声

今回情報活用基礎の授業で、サイバーメディアセンターを利用して思ったことは、パソコンの台数は多いのですが、少しネット回線が重いのは問題ではないのかと思いました。私が利用したのは、授業のみでしたが、時々使いにくいなと感じることがあったので、改善したらもっと利用者が増えると思いました。

授業で大勢の人が一度に同じ場所にアクセスした際、授業の進行に支障をきたすほど反応が鈍くなる。先生のパソコンでも同様に、前のモニターで解説さえできないという事態が多々あり非常にやりづらかった。また、もし可能ならば、情報教室などを空き時間に開放する際に、人数の使用状況を見て臨機応変な対応をしていただけるとさらに便利になると思う。

正直パソコンの操作は苦手な情報の授業ではパソコンの操作がある程度できるという前提で授業が行われることがよくあり、何かの課題をしているときに途中で止まってしまうと置いて行かれてしまい、さらにわからなくなることがありました。その反面、著作権などの話は大事なのがわかりますが高校でも何度もやってきているので、何度も同じような話をされても仕方ない気がします。わたしはレベル別に授業を行ったり、計算機システムをメインにした授業をより多くするなど工夫をしてほしいと思います。また、先生方はその授業レベルに合わせて進度を工夫するとより良い授業になっていくと思います。

情報活用基礎の授業でさまざまな知識を身に着けることができて良かった。

情報活用基礎のクラスによって扱う内容に差はあったようであるが、内容は大学ならではのあったように思う。ただ、なかなか理解できていないまま終わってしまったものもあり、せっかくの整った環境もうまくいかせていないように感じた。高校までのパソコンの経験によってかなり理解の差もあったように感じる。あまりにも高校で詳しくやっていたかのような流れで進めたので、自分のクラスではほとんど理解できていなかったのではないだろうか。また、システム自体は、自分だけで理解して利用するにはかなりの労力等が必要なものもあった(Mathmatica など)ので、これからも利用していくべきであると感じた。

授業をしていて、必要な時に印刷できないことがあったので、印刷がパソコンを使っていつでもできる場所を作って欲しい。

今までに未経験のソフトを学べる授業は非常に刺激的で、毎週興味を持って講義を受けることが出来ました。様々な理系のソフトを使うことで、今まで以上に科学の道が自分の中で広がったようでした。ただ大学でのPCの起動時間、ログイン時間の遅さ、またCLEの課題提出時の複雑性、履修登録時などでのKOANや、ウェブメールの説明の少なさ等が目立つのが難点でした。

まあまあよかったが、起動にかかる時間の長さをどうにかしてほしい。

情報活用基礎では今まで使ったことのない便利なツールを扱うことができて非常に有益なものだったと感じています。ただ、情報教室でした授業の作業の続きをしたいときに call 教室しか空いていないときに作業ができなかったのが残念でした。そのあたりのデータの共有の改善をしていただきたいと思います。自分で USB を買えば済む話ですが。

サイバーメディアセンター内のパソコンには必要なソフトが基本的にすべて入っていて利用しやすかったです。ただ図書館のパソコンの立ち上がりがかなり遅い時がありました。またサイバーメディアセンター内の教室は窓を閉め切っていることが多いためか、空気がよどんでいるのを感じることがありました。

情報活用基礎の授業で扱った計算ソフトは知っているソフトが大半でした。しかし実際あんまり使ったことがなかったのでいい経験になりました。お絵描きソフトとかなかなか興味深かったです。昔から絵心はなくダイオードの絵は上手に描けませんでした。またマスマティカを使った数学演習も面白かったです。今度から使ってみようかなと思いました。ダイオードを使った実験から得られたデータをグラフに表す作業でスムーズに表すことができなかったことは悔しく思いました。マスマティカに正しく値を決められた形式で入力できていなかったことが原因でした。一つミスで正しいグラフが手に入れることができなくなってしまったことに少し恐怖を覚えました。

高校までの授業でプレゼンテーションや PowerPoint を使ったりする授業はやっていたので、そこらへんはだいたい授業前からわかっていてスムーズに理解することができました。ただ表計算ソフトは使ったことがなくて全く使い方がわかっていなかったのも、ためになる授業でした。Excel はこれから色々な授業や社会に出てからも絶対使っていくものだと思うのでここで少し扱う機会があったのは非常に良かったです。ただ、説明を聞いてるだけでは理解できているようであり理解できていないことが多いので実際に全員が手を動かして作業する時間をもう少し増やしたらどうかと思います。あと、多くの人が一斉に使っているからかわかりませんがインターネットのつながりが悪かったことが何度かあってそこが少し気になりました。

印刷ができるのが良かった。

「情報活用基礎」の講義内容は自分の持つ能力に比べて若干レベルが高かったように感じる。高等学校までの情報に関する学習は充実したものではなかったので授業を理解するのに苦労した部分があった。一方で、自分の周りの学生も同じように授業中に困惑した表情を見せていたので、自分だけが能力的に劣っているとは感じなかった。特にプログラミングの分野で授業のたびに課題があったが、授業で触れた内容よりさらにレベルの高い課題だったので負担を感じた。授業では、大学生活で必須となる文書作成の仕方やプレゼンの準備の方法など、実用的で良心的な内容の学習を取り入れてほしかった。

サイバーメディアセンターはとても便利なおところだと思う。しかし授業のために使われている部屋や自習のために使われている教室が別々だったらもっと便利になるのではないかなと思う。情報活用の授業に関しては、プログラミングはあまり役に立たないと思う。

私の先生がいつかの授業でおっしゃっていた大変印象に残った言葉があります。「私たちはただパソコンなどのデバイスの使用方法を知っているだけではいけない。それらをどう活用していくか自分の脳みそで考えることこそが重要だ」という言葉です。これを聞いてから私は、どんな人でも情報化社会の一員となるのだから、ましてやわたしたち若年層はその先頭となるのだから、これからは授業で習得した技術と考え方を生かし実践していきたいと思いました。

サイバーメディアでもらえるソフトをちゃんと資料として配ってほしい。他には、サイバーメディアで印刷できる枚数は150枚では、授業の資料全て印刷するには足りないのもっと増やしてほしい。最後に、サイバーメディアは今5限までしか開館していないので、工学部のようないつもほぼ5限まで授業がある人にとっては全然行けない。だから、5限以降も開館してほしい。

大学内にだれでも自由にPCに触れる場所があるのはすごいと思ったし、確かにいいことだと思う。しかし昼休憩や空きコマの間に使用しようとする際、PCが空いていないということがよくある。図書館などを見ると、PCの前に座ってはいるが、電源もつけずに何かしている、という姿も見かける。PCを使用しないのに座席を使っている人について、もう少し注意喚起が必要だと思う。そして、もう少しPCの台数を増やしてほしい。

私は、高校の授業でWordやExcel、PowerPointを少し使ったくらいで、大阪大学に入学するまであまりコンピュータを利用した経験がありませんでした。それにもかかわらず、第Iセメスターから情報活用基礎の授業でプログラミングやmathematica、image-Jなどを取り入れた実習を行い、説明に追いつくのに必死でした。しかしながら、私は理学部に所属しており、将来に必要な技術を体験し、少しだけではあるけれど、習得する事が出来て良かったです。また、サイバーメディアセンターのコンピュータには、学生が購入するには敷居が高い様々なソフトが導入されており、更には、夜遅くまで利用する事が出来た事が魅力的でした。

情報活用基礎の授業でプログラミングやホームページ作成などのさまざまな技術を学んできて、自分のコンピュータに対する扱いが少しうまくなった気がした。プログラミングは高校でまったくやっていなかった内容であったのではじめはわからなかったけれど、何回か授業を重ねることで少しずつどんな文字列がどんな意味を持つかということが分かってきた。まだ、自分で思うようなプログラミングをすることはできないけれど、授業で習ったようなプログラミングができるようになったことは進歩だと思った。ホームページはネット上ではとても当たり前で便利なものだけれど、自分で作ったことがなかったのでホームページを作るのが案外難しいということがわかった。さまざまなリンクを張り付けたりするのもちゃんとした手順があることも分かった。情報活用基礎ではこれまでになかったような知識を得ることができてとても良い経験になったと思う。

情報活用基礎では、みんなが一斉に同じサイトにアクセスすることがあるので、全然つながらなかった。とくに、データベースを利用して検索する授業では、時間内に検索の課題を終わらせることができなかった。情報活用基礎以外では、2階以上の部屋が17時にしまってしまうと少し困った。

家で所有しているパソコンがMacなので、情報活用基礎の授業の復習が家で行いにくい場合があった。データベースの授業で用いたAccessも家のパソコンに入っておらず、復習しづらかった。サイバーメディアセンターは平日の夜遅くまで開いていて、所有台数も多く、ゆっくりパソコンを使うことができるので、とても便利であった。土日でも開けていただけるといっそう嬉しく思う。

情報活用基礎の授業は受けた事が無いですが、無料でコピーができたり、外国語教材のソフトがあって便利でした。ただ、利用できる時間が限られていることとコピーできる枚数が少なかったことが不便でした。

この授業を通していろいろなことを学びましたが、一番大学生活に役立つと感じたのは表計算やディベートの授業でした。私たちは理系の学生ですので、やはりエクセルやディベートをする機会はこれからもっと多くなるでしょう。そのようなときにソフトの使い方やディベートの経験というものは大きな武器になるでしょう。ディベート自体もとても面白く白熱したものになりましたが、もっと制限時間を守る、感情論になっている意見をとがめるなどの司会者役を先生方や他のグループにやらせるなどをして良かったのかなと思います。少し不満だったのはマクロなどのプログラムの授業がなかったことです。マクロを使うことで楽になる場面もこれからは増えると思うので、次回はぜひやってもらいたいです。

プリント印刷を無料でできるのはよいと思った。大学はレポート課題が多いので助かっている。mapleやc言語は現状使う場面がないので何とも言えないが、今後必要となる場面もあると思うので無料で使えるのはよいシステムだと思う。全体的にみると、大学で使わざるを得ないものは無料で使えるようになっていたため金銭的にとても良心的だと思った。
